



# 足立区議会だより

発行/東京都足立区議会 ☎(3880)5111 No.158



安達正興



藤木二幸



井上市三郎



馬場繁太郎



鹿浜清



平沢太郎

自由民主党  
足立区議会



藤崎貞雄



浜崎健一

副議長

議長



新井ひでお



鈴木きくお



藤田晴彦



吉川一



せぬま剛



巻田清治



河合平内



石川純



川下政信



斉藤八郎



宮原進



白川由人



谷中慶子



山本明儀



ともし春久

公明党  
足立区議会



浅古充久



渡辺英章



大島芳江

日本共産党  
足立区議団



杉崎征司



前野和男



芦川武雄



忍足和雄



西口喜代志



上田二郎



飯田豊彦



さとう純子



ぬかが和子



橋本ミチ子



伊藤和彦



鈴木秀三郎



小野実



今井重利



渡辺修次



針谷みきお



秋山秀俊

足立区議会  
市民連合



中島勇



瀬田富男



田中章雄



白石正輝



大神田賢次



鈴木進

自民党  
足立区議団



せがわ三則

無党派



石鍋達夫



藤沼壮次



長塩英治

自民党  
足立平成会



小林ますみ



野中栄治



鈴木あきら

政治家及び選挙に立候補しようとする者は、選挙区内にある者に対し、年賀状等の時候の挨拶状（答礼のための自筆によるものを除く）を出したり、寄附をしたりすることが禁止されています。

区民の皆様におかれましても、ご理解とご協力をお願いいたします。

# 平成9年度予算に対する 各会派の要望(要旨)

## 足立区議会自由民主党

我が会派は、常に区民の安全、健康及び福祉を保持することを旨とし、予算要望をしてきた。

しかるに、吉田新区長は、宿泊施設を含む、旧本庁舎跡地利用の複合施設建設について、一方的にその撤回を指示するなど、議事機関としての議会との協調を図ろうとしなかった。しかも、区長の「ホテル建設をストップ、別の施設を行う」等の公約は、具体的に対案のない選挙目当てのものであった。



区長と議会は互いに区民の代表として選出されている。従って、区長は行政事務を執行するに当たり、独断専行は厳に慎まなければならぬ。この点、区長に猛省を促すと同時に、広い視野、大多数区民の立場で、行政を継続して行うよう要求する。

さて、区民は従来にも増して行政のムダを省き、行財政基盤の整備を図り、より効率的で、公平、公正な事務事業の執行を求めている。ついでに、民間活力の導入など、行政改革、特に足立区行政改革大綱を積極的に推進し、全ての事務事業の効率化に励まれるよう吉田区長に強く求めるものである。

○旧本庁舎跡地利用の産業振興センターを含む複合施設を計画どおり推進されたい。

区の平成9年度予算編成に向け、各会派は各種政策を盛り込んだ予算要望書を、区長あて提出しています。その中から主な事項を掲載します。

こうした、膠着状態に陥っている経済社会を反映して足立区においても平成9年度は尚一層厳しい財政運営が強いられることは必至である。

しかし、いかに厳しい財政状況が続くとしても、わが党は一貫して主張し続けてきた社会的弱者を徹底して守り抜くことが地方自治体の使命であるとの観点に立ち人情味豊かな庶民のまち「あだち」づくりに果敢に取り組んできた。

現在、足立区は議会で承認された実施計画に基づいて、区民福祉の向上のために着実に事業を推進している。

然るに具体的な行政執行について、新区長から何一つ明確な指針が示されない現状から平成9年度予算に対する要望は、「千住本庁舎跡地利用としてホテルを含む複合施設の建設を断行すること」に集約せざるを得ない。



各部への要望(一六六項目)については行政の継続性という観点から参考までに添付するに留める。

○平和不戦都市宣言を行うと共に、平和資料館の建設、平和の日の設定など平和事業の推進に取り組まれたい。

○メトロセブンの早期実現に全力

を傾注されたい。

○中小企業融資制度の融資条件の緩和・拡充を図られたい。

○高齢者在宅サービスセンターの当面各ブロック一か所の設置を急がれたい。

○乳幼児医療費助成を就学前まで拡充を検討されたい。

○統廃合の学校を利用して介護福祉士等を養成する学校の設置または誘致を図られたい。

○舎人公園の早期完成と周辺整備・治安の維持に万全を期すよう都に働きかけられたい。

○総合文化センターの早期建設に取り組まれたい。

## 日本共産党足立区議団

日本共産党足立区議団は「住民の安全、健康、福祉を保持する」立場から「区民生活重視型」の予算編成を求めると共に、区長の掲げた「依命通達」の立場を支持し、来年度予算編成に関する四七三項目の予算要望書を提出しています。

○ホテル計画撤回の上で、千住庁舎跡地利用計画を早急に策定すること。

○特別養護老人ホームを地域にきめ細かく増設すること。

○常勤ホームヘルパーを増員する年次計画を策定すること。

○商工業者の実態調査を行い、産業基本条例の立場から区政の重点課題に示すこと。

○不況対策緊急融資を創設せよ。

○公共工事や物品購入は地元業者を八割に引き上げること。

○区民の声が区政に反映できるような区長へのファックスを設置すること。

○舎人・常磐新線の早期建設、環七地下鉄誘致など交通網の整備に努めること。

○非核平和都市宣言を行い、平和予算を計上すること。

○行政監察専門官制度を創設せよ。

○各種審議会に公募委員を登用し、会議の公開、審議結果を公表すること。



○阪神大震災の教訓にたつて、震災対策を強化すること。

○町会会館建設補助を増すこと。

○リサイクル条例を制定すること。

○障害者基本法の立場から施策の水準を引き上げること。

○生活保護の法外援護を復活せよ。

○保育の措置制度を守り、子育て支援を強化する乳幼児医療費の助成を就学前まで引き上げよ。

○保健相談所を増設し、区民の健康づくりを強化すること。

○舎人公園に温水プール、陸上競技場(サッカー場含む)建設を。

○一方的な学校統廃合をやめ、校舎の改築計画をすすめること。

○総合文化センターをつくること。

○図書館は直営で運営すること。

○行政改革を今後も積極的に推進し、義務的経費の軽減につとめ将来に対する基盤整備に備えること。(特に職員定数の削減)

○長期間にわたり、議会・執行機関・住民との間で検討され、実施してきた各種民間委託の推進と、民間活力のより一層の活用を図ること。

## 自民党足立区議団

○オンブズマン制度の導入を。

○区民中心の防災体制の確立を。

○資源ゴミの回収品目の拡大と中間処理施設を建設されたい。

○的確な不況対策と中小企業への融資条件の緩和、簡素化を図られたい。

○保育定数を増やし、すべての入園希望を充たされたい。

○産休明け保育の拡充と保育需要に添った事業の見直しを。

○福祉のまちづくり条例の制定を。

○精神、身体障害者のグループホーム施設を建設されたい。

○公的介護保険制度の早期実現へ向け国に強く働きかけたい。

○高齢者福祉手当での申請は、現行の三か月を一月に短縮せよ。



○千住庁舎跡地利用については、今日までの経過を踏まえ、計画どおり速やかに実行すること。

○美濃部都政に見るバラマキ福祉は、未来における計画的福祉行政を崩壊させるものであり、真の弱者救済を考えるならば、重点的・効率的に予算を配分すること。

○選挙中・選挙前に区長の発言した公約、各種ビラ等で区民に示した、実行不可能と思える約束を信じて区長に投票した区民を欺くことは、区民の政治不信をますます拡大することになる。予算不足を理由にこれら公約を放棄することは許されないので、至急に誠意ある実現方法を示すこと。

## 足立区議会市民連合

○非核平和都市宣言を行い、啓発推進計画を策定し、平和事業の推進と基金を創設されたい。

○各種審議会を公開とし、委員に公募枠を設けられたい。



○メトロセブン、竹の塚一池袋地下鉄線の早期実現に努めること。

○旧本庁舎跡地利用は、千住地区の活性化を第一に計画を推進せよ。

○日本国憲法の理念を区政に生かし、64万区民の自立、共生を基礎に公平・公正・透明な区政運営をされたい。

## 自民党足立平成会

行政の仕組みが問われているのは政府ばかりではない。構造的な不況で財政赤字をかかえる地方自治体も同様である。

今までも同じ発想のもとに予算の積み上げ方式を繰り返していたのでは、単に事業の優先順位と歳出の削減に手を加えるだけに留まるばかりではない。

このままでは高福祉即ち高負担の他に選択する余地もなく、活力ある高齢化社会の実現は見込めない。

保険制度にしても歳出を押さえずに負担の割合だけを問題にしていたのでは、いざ行き詰まるに違いない。区の権限外というだけでは済まなくなる。

革新区長といえども行政サービスに質とコストを選択するのは避けられない問題である。

「区民が主人公」であることは、民主主義を擁護する立場を同じくする議会としても当然の考えである。むしろ区民の参加によって初めて「安心して暮らせる仕組み」が実現出来ることを銘記しなければならぬ。

吉田区長は共産党や職員組合に偏らず、小異を捨てて公人としての責任を果たされたい。

